



「習慣って大切だな」と思うことがよくあります。新型コロナウイルス感染症によって、この2年間で多くのものを失った気がします。中学生にとっては、例えば、楽しみにしていた学校行事や、目標にしていた部活動の大会やコンクールが次から次になくなってしまいました。

でも、2年に及ぶコロナ禍で手にしたものもあります。私（校長）は、毎朝出勤すると、職員室の出入り口の非接触型体温計を額に当て、体温を測ります。そして、その数値を校長室机の上に置いてある健康観察カードに記入します。その後、校長室の小さな手洗い場で、レモン石鹸を泡立て、

ゴシゴシと音が出るほどの勢いで手洗いをします。これは、コロナが流行するまではなかった習慣です。この習慣のおかげで、毎日の健康管理を意識することができるようになりました。体温測定や手洗いを、これほどまでに行った経験は人生の中で初めてです。マスクを着用することや、部屋の窓を開けることなどを含めて、新型コロナウイルスの出現によって、手にした良い習慣だと思っています。



皆さんは、最近、検温・手洗いや換気の習慣が危うくなっていませんか？

体調不良を訴える生徒が増加傾向です

今週になって、学校で体調不良になり、早退をする生徒が少しずつ増えています。熱は無いのですが、頭痛や吐き気などを訴える例が多いです。こういう時期ですので、体調不良の生徒は平熱であっても、なるべく早期に家に帰す方向で対応しています。

朝、お子さんが家を出る際に、体調をご確認いただき、学校で体調が悪くなるような心配がある場合は、登校を控えるようお願いします。また、お迎えをお願いさせていただいた時は、できるだけ速やかに対応いただけると幸いです。極力、校内で感染症が広がらないようにしていきたいと思います。



今年度の卒業証書授与式も卒業生のみで行うことを決定しました

3月3日（木）に開催する予定の令和3年度卒業証書授与式について、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、内容を一部変更させていただきます。

★参加者★

卒業生、卒業生の保護者（2名まで）、来賓10名程度、全教職員
※在校生の参加を取りやめました。ただし、役割のある一部の在校生は参加します。（在校生は、全校練習や予行練習で卒業式の雰囲気を感じる機会を持ちます）

★卒業式当日の在校生の扱いについて★

1年生と2年生は「学年休業日」として、自宅で家庭学習に取り組むこととします。



私立高校・専修学校の入試が行われました



1月26日(水)の推薦入試に続き、2月1日(火)から2月3日(木)の3日間、私立高校と専修学校の一般入試が行われました。本校の3年生の多くが初めての受験を経験しました。

推薦入試は、その学校に進む希望が強く、中学校長の推薦を得て、他の学校を受験しないことを原則とする試験です。つまり、「本命の学校」の試験で、合格すれば、その学校に進学します。

一般入試は、他に第一志望とする学校がある生徒が、その学校の試験の練習を目的としたり、万が一、希望する学校の試験が受けられない状況になったり、不合格になったりした場合の「押さえ」として受ける試験です。



冬休みに面接練習に取り組む3年生

今年は新型コロナウイルス感染症の影響から、直前で面接による試験を中止する学校が相次ぎました。せっかく準備や練習を重ねたのに、残念な思いをした生徒も多いと思います。でも、面接試験に向けて準備したことは、決して無駄にはなりません。もちろん、まだ残っている公立高校の入試に役立つこともあります。それだけではありません。自分をしっかり見つめたり、何のために希望する高校に入るのかを意識できたりしたことは、新たな舞台に立つ時に、大きな心の支えになります。努力

したことが、無駄になってしまうことなどありません。すべてが「力」になります。

初めての入試を経験した3年生に、感想を聞いてみました。

私が、自分が受験する学校を選んだ理由は、説明会で聞いた学校の雰囲気良く、学習面でのサポートが充実している点に魅かれたからです。今年の入試は、面接がなくなり、国語・数学・英語の3教科のテストのみで、どの教科も基本問題を中心とした出題でした。私は、受験までに過去問題をたくさん解くことを心がけました。そのおかげで、入試当日はあせることなく問題に取り組むことができ、無事に合格することができました。

(推薦入試を受けた女子)

鉄道に興味のある僕は、鉄道研究会があり、卒業後は鉄道関係の就職にも有利な高校を選びました。入試に向けては、英語ではわからない単語を覚え、国語では漢字の学習に力を入れるようにしました。自分では、最後までやり切ることができず、満足ができる受験勉強ではありませんでしたが、合格することができて良かったです。

(推薦入試を受けた男子)



自分が受けた高校の試験はマークシート方式でした。僕は入試に向けて、過去問を解くようにしていました。しかし、公立高校の過去問とは少し違った難しさがあり、苦戦していました。高校まで向かう途中、他の学校の受験生を多く見かけ、みんなやる気に満ち溢れている様子に見えました。そして、僕も良い緊張感を持って、試験に臨むことができたと思います。

(一般入試を受けた男子)

僕は塾の冬期講習などをやってきて、問題をたくさん解くことで自信を高め、入試に臨みました。モチベーションを上げて、自分の力を存分に発揮できるように気持ちを整えて入試会場に向かいました。ところが、知らない他校の生徒が多くいる中でテストを受けるとなると、思った以上に緊張しました。公立高校の受験に向けて、良い練習になりました。公立の入試では、自分の全力が出せるように頑張ります。

(一般入試を受けた男子)